

# 令和5年度 田川市立病院評価委員会 議事要録

日時 令和5年8月25日（金）14時00分～15時55分

場所 田川市立病院 講堂

## 1 出席者

### (1) 委員

学識経験者	柴田洋三郎	福岡県立大学 学長
〃	岡部浩司	田川医師会 会長
〃	是永大輔	中津市 病院・診療所 事業管理者
〃	尾形由起子	福岡県立大学看護学部 教授
〃	佐藤元治	公認会計士
市民委員	上村晋司	元田川地区消防署長

### (2) 事務局

鴻江病院事業管理者、松隈病院長、荒木副院長、吉田事務局長、石川看護部長、松元医療技術部門長、池口総務課長、有田医事課長、鴨井医療支援センター副センター長、茅野経営企画課長補佐、加藤経営企画課係長、経営企画課担当

## 2 委員長、副委員長の選出

委員の互選により、委員長に柴田委員、副委員長に岡部委員を選出

## 3 議事

### (1) 令和4年度決算見込みについて

#### (事務局より概要説明)

感染症重点医療機関として、前年度に引き続き感染症対応に注力した。感染症診療の体制確保のため HCU 及び 2 階東病棟の休止のほか、感染拡大時における不急の手術や検査、外来の診療制限などから、医業収益が大きく減少した。また、光熱水費や緩和ケア病棟の整備費、検温対応業務等の委託費の増などに伴い医業費用が増加し、医業収支は△919 百万円（前年度比△172 百万円）となった。しかしながら、新型コロナ感染症に係る補助金により、経常収支は 552 百万円（前年度比△278 百万円）、病院事業収支は 504 百万円（前年度比△271 百万円）の黒字決算となった。

#### (質問・意見等)

- ・延べ外来患者数が令和3年度に比べて大きく減少した要因は何か。
  - 感染拡大に伴い職員の感染や家庭での濃厚接触が増加し、出勤できない職員が増加した。通常診療の体制を確保するため、不急の手術、検査の制限だけではなく、開業医からの紹介や外来診療を制限せざるを得なかったことなどが大きく影響を及ぼしたと考える。
- ・「その他医業収益」が5千万円ほど減少している要因は何か。
  - 他会計負担金や個室料などの収益が減少したことがあげられる。
- ・外来化学療法やリハビリ件数が減少しているが、外来単価が増加した要因は何か。
  - 薬剤・注射の収益が増加したことがあげられる。
- ・業務活動によるキャッシュ・フローの中で「未収金の増減額」の金額が大きいけどどのような内容になるのか。

- 最も影響を及ぼした未収金は、国・県補助金であり、新型コロナウイルス感染症の体制整備補助金の2月～3月分が4月～5月に入金されたため、未収金が大きく増加した。
- ・投資活動によるキャッシュ・フローにおいて、8億4千万円の設備投資が行われているが、この資金は企業債発行と他会計負担金のどちらで賄われているのか。また、企業債発行であれば、長期前受金戻入との関連はどのようになるか。
- 企業債発行によるものがほとんどである。会計処理としては、年度ごとの償還金に対する繰入金金を長期前受金戻入として処理することとなる。

## (2) 業務実績に関する評価について

第3期中期事業計画の終了に伴い、令和4年度の業務実績のほか、第3期計画期間（令和元年度～4年度）の業務実績について、市立病院の自己評価を参考に評価を実施。

### ①令和4年度の業務実績に関する評価（単年度評価）

#### ○小項目評価

（目標指標の実績値を基本に、次の3視点を踏まえて総合的に評価。①効果的な取組が行われているか。②前年度と比べ実績値が伸びているか。③目標を達成しているか。達成していない場合は、実績値の伸び率や進捗状況から今後達成が見込めるか。）

小項目41項目のうち、次の5項目の評価を変更

#### ・腎疾患・透析医療 【評価変更：3→4】

「田川地区 CKD・糖尿病予防連携システム」の構築など、腎疾患・透析医療において中核的な役割を担っており、積極的な啓蒙活動を行ったことを評価。

#### ・医療従事者に対する研修会の充実 【評価変更：3→4】

病院主催の研修会をオンラインで開催し実績を伸ばしているほか、福岡県立大学の特定行為研修において基幹的な協力施設として取り組んだことを評価。

#### ・交流の促進 【評価変更：3→4】

目標の訪問件数を大きく超え、積極的に顔の見える関係づくりに取り組んだことを評価。

#### ・健診、がん検診、人間ドックの実施 【評価変更：3→4】

健康診断について、自己負担額の見直しや積極的な広報活動などに取り組み、目標件数を大きく超える実績になったことを評価。

#### ・新型コロナウイルス感染症への対応 【評価変更：3→4】

重点医療機関としての感染対応に注力し、中等症患者の積極的な受入などに取り組んだことを評価。

#### ○大項目評価

（小項目評価の結果から大項目評価の基となる点数を算出、判断基準に沿って評価）

大項目	評価		点数
1 田川市立病院の果たすべき役割	<b>B</b>	概ね計画どおりに進んでいる	2.9
2 三方よしの病院運営	<b>B</b>	概ね計画どおりに進んでいる	3.0
3 ウィズコロナの病院運営	<b>B</b>	概ね計画どおりに進んでいる	3.0
4 再編・ネットワーク化	<b>B</b>	概ね計画どおりに進んでいる	3.0

## ○全体評価

(大項目評価の結果および特に着目すべき成果(5項目)を考慮し、全体評価を実施)

令和4年度の評価結果 (全体評価)	中期目標・中期計画の実現に向けて、概ね計画どおりに進んでいる(評価B)
----------------------	-------------------------------------

### (主な意見・総括)

- ・再編・ネットワーク化について、昨年の「明日の田川地域医療を考える講演会」でかなりヒントを得られたと思う。医師会を含め定期的な勉強会を進めていただきたい。
- ・医療安全の取組・実績が順調に伸びており評価できる。医師の意識改革が課題ということだが、インシデントレポートの提出の仕組みを再度検討いただきたい。

## ②第3期計画期間(令和元年度～4年度)における業務実績に関する評価(4年間の評価)

### ○大項目評価

(各事業年度の大項目評価の結果を基本に、4年間の特筆すべき取組を踏まえ評価)

大項目	評価	
1 田川市立病院の果たすべき役割	B	中期計画を概ね達成した
2 三方よしの病院運営	B	中期計画を概ね達成した
3 ウィズコロナの病院運営	B	中期計画を概ね達成した
4 再編・ネットワーク化	B	中期計画を概ね達成した

## ○全体評価

(大項目評価の結果を基本に、目標指標の達成状況および収支計画の実績を踏まえ、全体評価を実施)

第3期計画期間の評価結果 (全体評価)	中期計画を概ね達成した(評価B)
------------------------	------------------

### (主な意見・総括)

- ・地域の医療機関が連携して、限られた医療資源を如何に有効活用していくかが重要である。公立病院として市立病院が中心になって、連携強化を進めていただきたい。
- ・特定行為研修において基幹的な役割を担っており、在宅や慢性期医療の特定行為看護師も増加している。地域と病院の橋渡しを行う特定行為看護師を増やしつつ、地域の連携が一層深まればよいと思う。
- ・循環器内科や緩和ケアの充実などに精力的に取り組んでいる一方で、コロナ感染症の影響による医業収支の落ち込みが回復できていない。今後のことを考えると大変だと思うが、頑張っていたいただきたい。
- ・住民の立場から、市立病院は頼りになる病院と認識している。地域に必要な「断らない医療」、「救急医療」について、病院として業績を向上していただきたい。

### (3) 第4期中期事業計画について

#### (事務局より概要を説明)

##### ○基本理念

地域（患者・かかりつけ医・住民・職員）の求めに応え、安全・安心な医療を支えます

##### ○計画の主な特徴

- ・基本理念の下、近江商人の行動哲学である「三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）の考えを基本に“10年後の目指すべき病院像”を再設定
- ・公立病院経営強化ガイドプランに基づく6つの視点を踏まえ、「公立病院経営強化プラン」に位置付け、計画期間を5か年に変更

#### (主な質問・意見)

- ・地域における役割分担として診療科の機能分化・集約を検討されてのことと思うが、脳外科医がいることで脳血管疾患のコンサルテーションが可能のため、救急の応需率の向上に繋がることとなる。ご検討いただきたい。
- ・先般、「紹介受診重点医療機関」に選定されたものの、その記載がないがどのように考えているか。  
→ 概要版には記載していないが、本編の「紹介・逆紹介の推進」に記載している。

### (4) その他

- ・特になし